

これからの都市デザインに必要なビジョンと仕組み

Guest

熊本駅周辺の再生を手掛ける
熊本大学大学院教授、建築家

今年10周年を迎えるFAF(福岡建築ファウンデーション)が主催する第2回目のFAFスクール。福岡都心で行われている天神ビッグバンや博多コネクティッドなどを視野にいれながら、事業者や行政担当者みなさんと「都市デザインのこれから」を一緒に考えるスクールを企画しました。

2022年10月24日(月)

とき

受付/14:30~ 開演/15:00~ 閉会/17:30

[15:00~田中智之氏レクチャー 16:40~田中氏×黒瀬氏クロストーク]

ところ

アクロス福岡1階 円形ホール

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡

定員/60名 参加費/一般 2,000円 FAFサポート会員 1,000円

締切/2022年10月17日(月) ※定員に達し次第締め切り

詳細はこちらをご覧ください。 <https://www.fafnpo.jp/next>



Tomoyuki Tanaka

15:00- Lecture

2021年に完成した熊本駅の新駅、および周辺再開発事業。さらには、2019年に開業した日本最大級のバスターミナルを有する桜町地区市街地再開発事業。二つのビッグプロジェクトを通して、約15年にわたり多数のステークホルダーをまとめてこられたプロセスについてお聞きます。



田中智之氏

1996年早稲田大学大学院修士課程修了。NASCA、同大学専任助手、同大学芸術学校客員講師等を経て、2005年熊本大学助教授。2006年TASS建築研究所を共同設立。2007年熊本大学大学院准教授。2014年建築作品による博士号を取得(早稲田大学)。2018年より熊本大学大学院教授。主な作品に「熊本駅周辺地域都市空間デザイン(2005-/都市デザイン)」等。近著は『超建築ベース 遠近法を自在に操る26の手描き術(2021・学芸出版社)』。

16:40- Crosstalk

田中智之氏×黒瀬武史氏

都市デザイン・都市計画を専門に九州大学教授として教鞭をとる黒瀬武史先生をお招きしたクロストークを通して、これからの都市デザインに必要な仕組みづくりについて探っていきます。



黒瀬武史氏

1981年生、東京大学工学部都市工学科卒~東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了。株式会社日建設計に勤務後、2010年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助教、2016年4月九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門准教授、2021年4月同教授に就任。専門は都市デザイン・都市計画。著書に『米国のブラウンフィールド再生 一工場跡地から都市を再生するー』『アーバンデザイン講座』(共著)などがある。

お申し込み方法

FAF ONLINE STOREよりお申込み・参加費のお支払いをお願い致します。

※電子チケット等の送付はございません。

FAF ONLINE STORE より、支払い完了メールが届きましたら、お申し込み完了です。



FAF
ONLINE STORE

※支払い完了メールが1週間経っても届かない場合は、申込みが出来ていない可能性がございます。その際は、お手数をお掛け致しますが、事務局までお電話下さい。(092-732-3191)